



とちぎ

×

エスディージーズ

SDGs

~未来のためにできること~



栃木県

世界の状況

今、世界はたくさんの課題を抱えています。

貧困や飢餓に苦しみ、健康的な生活を送れない人たちが、十分な教育を受けられない子どもたちがいます。また、差別や暴力、不当な労働で苦しむ人たちが、水道や電気が使えない生活を送っている人たちもいます。環境破壊や気候変動の問題は深刻さを増しており、国際的な紛争も絶えません。

このような課題は、相互に複雑に関係しており、先進国と開発途上国が共に取り組む課題です。



エスディーゼース SDGsとは

これらの課題を解決してより良い世界を未来に引き継いでいくために、世界が一丸となって取り組んでいくための目標が、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals (以下、SDGs))」です。

世界が直面する多くの課題を統合的に解決することを目指して、2015年の国連サミットにおいて、全会一致で採択された2030年を達成年限とする世界共通の17の目標です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの目指す姿

17の目標は、**経済**に関する目標、**社会**に関する目標、**環境**に関する目標で構成され、経済成長を優先してきた従来型の価値観からの転換を図り、誰もが尊厳を持って生きることができる、経済、社会、環境の3側面が調和した持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指しています。

しかしながら、各国の政府による取組だけでは、目標の達成が難しいため、地方自治体、企業、NPO、個人一人ひとりに至るまで、全ての人々の行動が求められている点がSDGsの大きな特徴であり、17番目のゴールとして、パートナーシップの活性化が掲げられています。

栃木県においても、行政をはじめ、県民、企業、NPO等、あらゆる主体がSDGsに対する理解を深め、その理念を踏まえて行動していくことが重要となっています。

経済、社会、環境の3側面が調和した 持続可能で誰一人取り残さない 社会の実現



経済

- 経済格差の縮小
- 雇用の確保、働き方改革
- AI・IoT等の技術革新
- 持続可能な生産と消費 など



社会

- 貧困や飢餓の撲滅
- 健康長寿、福祉の増進
- 教育の確保
- ジェンダー平等、人権尊重 など

環境

- 気候変動対策
- 資源の有効利用
- 森林、海洋等の環境保全
- 生物多様性の保全 など



「環境立県とちぎ」や「自転車先進県」

栃木県では、県政の基本指針である栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に
ここでは、「環境立県とちぎ」、「自転車先進県とちぎ」を例に、県の主な取組を



元気な森づくりの推進

【取組例】森林資源の循環利用や多様な森づくりを進めるとともに、スマート林業の推進や次代を担う林業人材の確保・育成などに取り組んでいます。



災害に強い県土づくりの推進

【取組例】頻発・激甚化する豪雨災害等に備え、流域全体のあらゆる関係者と協働してハード、ソフト一体となった流域治水対策を進めています。



資源循環の推進

【取組例】食品ロスや使い捨てプラスチックの削減など、廃棄物等の発生抑制や再使用、リサイクルを促す取組を進めています。



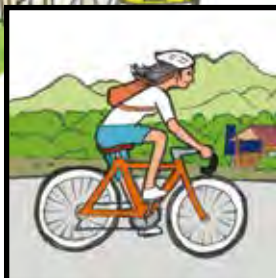
電気自動車 (EV)・燃料電池車 (FCV) の利用促進

【取組例】EV充電器・水素ステーションの整備や、EV・FCVなどの環境にやさしい自動車への転換を促進しています。



自転車活用による地域の活性化

【取組例】自転車利用による健康づくりに加え、サイクルツーリズムの推進や各種自転車関連イベントの開催等を通じた地域の活性化などを進めています。



EV & H2 水素ステーション

STATION

「とちぎ」を例とした栃木県の取組

エスディージーズ

掲げる各種施策を推進し、SDGsの達成に向けて取り組んでいます。紹介します。

気候変動に適応した農業の推進

【取組例】農業を取り巻く環境の変化に対応した品種や栽培技術の開発、環境への負荷を軽減した持続性の高い農業などを進めています。

2 気候をばらばらにする	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナシップで目標を達成しよう
--------------	-------------------	---------------	-----------------	--------------	---------------------



環境産業の振興と産業を支える環境技術の促進

【取組例】企業等における環境に配慮した技術・製品の開発や、脱炭素化に向けた取組などを支援しています。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を	17 パートナシップで目標を達成しよう
----------------------	--------------	-------------------	------------------	-----------------	---------------------



持続可能な社会の創り手を育む教育の推進

【取組例】SDGsを自らの問題ととらえ、身近なところから取り組む学習活動を推進するなど、課題解決に向けた意識や主体的な態度を育てています。

4 質の高い教育をみんなに	10 人や国の不平等をなくそう	17 パートナシップで目標を達成しよう
---------------	-----------------	---------------------

安全・安心なまちづくりの推進

【取組例】通学路などの歩道整備や自転車通行空間の整備などで安全で快適なまちづくりを進めています。

3 すべての人に健康と福祉を	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナシップで目標を達成しよう
----------------	-------------------	------------------	---------------------



再生可能エネルギーの導入拡大

【取組例】太陽光発電などの導入拡大を図るとともに、水力発電によるCO₂フリーの電気を供給する「とちぎふるさと電気」の提供などに取り組んでいます。

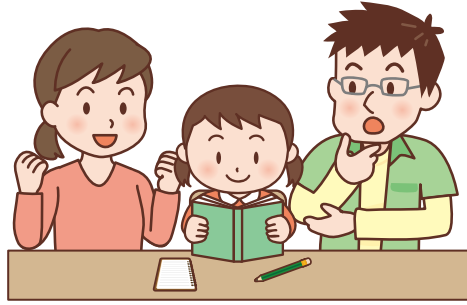
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	17 パートナシップで目標を達成しよう
----------------------	--------------	-------------------	------------------	---------------	-----------------	---------------------



はじまっています! とちぎ×SDGs

世界共通の目標という、難しく感じるかもしれませんが、私たちの身近な行動がSDGsの達成にもつながっています。持続可能で誰一人取り残さない社会を実現していくため、今こそ一人ひとりの意識や行動を変えていくことが重要です。

栃木県内でも様々な取組が行われています。皆さんも今日から自分のできることをはじめてみましょう!



県内取組事例の紹介

SDGs Report 01

生きいきこっとな村

関連する主なゴール



メンバーによる綿摘み

地域の方々との温かい触れあいで自立援助ができる笑顔あふれるコミュニティづくり

鹿沼市千渡地区において、近隣農地を活用し、野菜や綿花・筍の原材料の栽培・販売などを通して、地域の高齢者・障害者・引きこもりがちな方などの社会参加を促す活動に取り組んでいます。活動を通して、発達障害者、引きこもりの方とその家族の方の居場所が生まれるとともに、高齢者は生きがいの再発見につながるなど、取り残される方がいない地域の実現に向け、着実に歩みを進めています。

また、県指定伝統工芸品「鹿沼筍」の製作過程を通じて、地域の高校生・大学生との交流も生まれ、伝統文化の継承や農業と福祉分野の連携なども進んでいます。



いろいろな人が集う作業場

取組団体名 | 生きいきこっとな村、特定非営利活動法人福聚会、きびがら工房、特定非営利活動法人CCV、宇都宮大学、栃木農業高等学校

みんなも やってみよう

エシカル消費※をを考えて買い物をしよう

※エシカル消費：エコ商品や、福祉作業所の製品など、人や社会、環境に配慮した製品やサービスを選んで消費すること。



磯山とゆかいな仲間達・ふれあいの森 いそやま・学校法人 磯山学園

関連する主なゴール



メンバーによる環境美化活動

地域の宝『磯山』を守り・育て・活かす

真岡市の南東部に位置する『磯山』において、里山林の環境整備や環境美化活動を行い、そこが子どもの自然体験・環境教育の場として活用されることによって、世代間交流や協働活動を進めています。これらの活動を通じて、美しい自然が残る『磯山』が、地域にとってかけがえのない場所となり、自然とのふれあいによって幼児の豊かな想像力・発想力が育まれるとともに、住民による安全確認や見守りへの参加など、活動への協力の輪が広がり、地域ぐるみの取組へと発展しています。



里山林の環境整備

取組団体名

磯山とゆかいな仲間達、ふれあいの森 いそやま、真岡児童館やさしクラブ、真岡ふたば幼稚園、いちごの杜保育園、真岡めばえ保育園

みんなも やってみよう

植林活動や森づくりに参加しよう



さかがわ協議会

関連する主なゴール



「いい里さかがわ館」を拠点とした地域の活性化

当会は、地元茂木町を盛り上げたいという住民の思いを実現するため、2006年に有志で設立され、農産物直売所や農村レストラン、農産物加工所の複合交流施設「いい里さかがわ館」を拠点として、地元農産物等を活用した特産品づくりや都市住民との交流を目的とした各種イベントの開催を行っています。



ミツマタの群生地

活動を通じて、女性ならではのアイデアを生かした多くの人気商品が誕生するとともに、観光業者等と連携してミツマタ群生地を活用した新たな交流人口創出を実現しました。また、都心への交通手段を確保するなど、地域の活性化を目指し、住民が一丸になって取り組んでいます。



いい里さかがわ館のメンバー

みんなも やってみよう

自分が住む街や地元の企業の魅力を知ろう



とちぎネパールコミュニティ

関連する主なゴール



とちぎネパールコミュニティのメンバー

多文化共生★蔵の街清掃活動

栃木市内及び近隣在住ネパール人で組織する当コミュニティは、栃木市国際交流協会と協働して、栃木駅周辺や市中心部で清掃活動を行っています。

清掃活動を地道に行うことで、広く活動が認知され、地域住民のネパール人に対する理解が進むとともに、ネパール人の住民にも地域の一員であるという意識が芽生え、日常生活のマナーの遵守や防災活動への参加が進むなど、異文化理解や多文化共生の考え方が地域に根付いてきています。



市内の清掃作業

取組団体名 | とちぎネパールコミュニティ、栃木市国際交流協会

みんなも
やってみよう

プラスチックごみの排出を減らすため、マイバッグやマイボトルを使おう

主な
ゴール



社会福祉法人 蓬愛会

ほう あい かい

関連する主なゴール



『み～んなの保健室』 (断らない地域丸ごと相談窓口)

当会では、病院へ行くほどではなくても、「誰かに話を聞いてもらいたい」、「誰かとつながりたい」といった、子どもから高齢者まで、多種多様な状況に置かれた方々の不安や悩みに対し、「私たちがよければ」という地域の方々の協力提案を受け、『み～んなの保健室』を開設して、協働で「断らない無料相談」に取り組んでいます。



窓口での相談

地域の民生委員、福祉協力員、老人会などと当会の医療と保育、介護の専門職とが一体となって取り組む本活動は、地域の人材活用や生きがいつくりのほか、地域の「なじみの関係」の構築など、社会参加の輪の広がりに寄与しています。



窓口が設置されている福祉コミュニティ「美渉」(宇都宮市)

みんなも
やってみよう

心も体も健康に過ごすために必要なことを考えてみよう

主な
ゴール



栃木トヨタ自動車株式会社

関連する主なゴール



「とちおとめプロジェクト」の発足

社員が充実感を持って働き続けるための環境の整備

当社では、女性活躍を推進するため、「とちおとめプロジェクト」を発足させ、ライフステージの変化にかかわらず、女性社員が向上心や、充実感を持って働き続けることができる会社を目指しています。

これまでに、土日の休暇取得を会社全体でサポートする「店舗お助け隊」制度や男性社員の育児参加を促進する「パパ休暇」の創設のほか、休業取得者以外の社員等にも育児への理解を深めるための「仕事と育児の両立支援ガイドブック」の作成などを進めてきました。

このような取組を通じて、社員の相互理解が高まり、働きやすさの向上が図られてきています。



社内の人材育成

みんなも やってみよう

家事や子育てを分担しよう

主なゴール



国立大学法人 宇都宮大学

関連する主なゴール



地域との共創による持続可能で豊かな社会の実現

本学では、全学組織として「SDGsワーキンググループ」を立ち上げ、SDGs事例の集約、必修科目の企画・運営など、多彩な活動を行ってきました。教育面においては、シラバスにおいて全ての科目と各ゴールとの関連付けを明示するとともに、専門的な学びとSDGsとのつながりを学ぶ文理横断型のカリキュラムとして「SDGs入門」を1年次必修科目として開講し、^{かんよう}全学生にSDGsの視野を涵養しています。大学院「地域創生科学研究科」では、「SDGs達成のための科学技術イノベーション(STI^{*} for SDGs)」の視座より、分子農学、光工学、ロボティクスといったSDGs達成につながる研究を進めており、分野融合的な知見の創出によって、地域との共創による持続可能で豊かな社会の実現を目指しています。



学生の地域活動



シンポジウムにおけるパネルディスカッション

※STI: Science, Technology and Innovationの略

みんなも やってみよう

気候変動や水の問題など世界の状況を知ろう

主なゴール



栃木県立大田原高等学校

関連する主なゴール



研究結果の発表

持続可能な社会の構築に向けた人材育成

本校では、令和元年度に文部科学省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の指定を受け、社会の持続的な成長と発展に対する『志』を持ち、国内外を問わず理系と文系の視点を融合して科学技術分野で新しい価値を創造・発信できる人材の育成に取り組んでいます。

新聞を題材に社会の課題とSDGsとの関係を知る学習や、有識者からのSDGsを踏まえた具体的な講義を通じて、生徒は現代社会が抱える諸問題に関連した研究のテーマを設定して探究活動を進めています。生徒自身が自分の意志で課題に向き合い、持続可能な社会づくりに挑戦し、主体的に学ぶ姿勢や探究する意欲が向上してきたことが、コンテストでの成果や地域に貢献する活動につながっています。



新聞を題材にしたグループワーク

みんなもやってみよう

社会の課題を解決する新しい技術や製品を知ろう

主なゴール



宇都宮市立宮の原中学校

関連する主なゴール



SDGsを「ジブンゴトとして考える」

本校では、私たちの暮らしとSDGsとのつながりを見つけ、SDGsの背景にある問題を「ジブンゴト」として考える意識を育てる取組を行っています。

身近な衣類などを通して、世界が抱える問題に対する理解を深めるとともに、自分たちにできることを考え、実際に行動を起こしています。生徒が主体となって取り組むことで、一人ひとりに「自分も持続可能な社会の創り手」という自覚が生まれ、社会情勢に向き合う意識に変化が表れてきています。



SDGsに関する課題学習



民間企業の子ども服回収プロジェクトへの参加

みんなもやってみよう

フードバンクに食べ物を寄附しよう

主なゴール



足利市立東山小学校



スマイルマーケットにおける地域の高齢者との交流

地域に信頼される学校づくりを目指して

本校は、2013年に「ユネスコスクール」としての承認を受けました。創立以来「みんな仲よし」を心の基盤として、校風の樹立が図られてきました。一人ひとりの違いやよさを認め合いながら、温かい人間関係を育む人権教育活動を推進しています。

学校と保護者、地域とのつながり、信頼関係が深い本校では、「スマイルマーケット・なかよしジャンボリー」というPTAと学校、地域が協力し合う協働推進行事を通して、次世代を担う子どもたちと、地域で共に生活する大人、高齢者などがふれあいを深めています。今後も、持続可能な社会の担い手を育む教育の推進を継続し、子どもたちの健全な心や弱い立場の人々を思いやる気持ちを育てていきます。



PTAのゲームで遊ぶ児童

みんなも
やってみよう

地域の美化活動や防災活動に参加しよう

主な
ゴール



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsの達成に向けて自分にできることを考えてみよう



エスディージーズ

私のSDGs取組宣言



宣言文

わたしは持続可能で誰一人取り残さない社会の実現に向けて、次のアクションに取り組んでいきます！

氏名

関連するゴール番号

私のアクション

関連するゴール番号	私のアクション

エスディーゼース
SDGsの17のゴール



目標1 [貧困]
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



目標10 [不平等]
各国内及び各国間の不平等を是正する



目標2 [飢餓]
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



目標11 [持続可能な都市]
包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



目標3 [保健]
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



目標12 [持続可能な消費と生産]
持続可能な生産消費形態を確保する



目標4 [教育]
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



目標13 [気候変動]
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



目標5 [ジェンダー]
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う



目標14 [海洋資源]
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



目標6 [水・衛生]
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



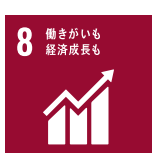
目標15 [陸上資源]
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



目標7 [エネルギー]
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



目標16 [平和]
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



目標8 [経済成長と雇用]
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



目標17 [実施手段]
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



目標9 [インフラ、産業化、イノベーション]
強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

栃木県におけるSDGsの推進について

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/tochigi-sdgs.html>

